

WEG（世界馬術選手権）2018トライオンへ出場する玉置徹選手が市長を表敬訪問します ～Winter Slider 2018のレイニング部門で日本人として初優勝～

東京クラシッククラブ（若葉区）に所属する調教師の玉置徹（たまおきとおる）選手が、2月にオクラホマ州で開催された馬術競技会Winter Slider 2018のレイニング部門で日本人として初優勝し、WEG（世界馬術選手権）2018トライオンへの出場を決めました。

このたび、その報告に市長を表敬訪問しますので、お知らせします。

1 日時

平成30年5月31日（木）10：30から

2 会場

市役所3階 市長応接室

3 訪問予定者

- ・玉置 徹（たまおき とおる）選手（東京クラシッククラブ所属）
- ・三成 拓也（みなり たくや）（東京クラシッククラブ 馬主クラブ支配人）

4 WEG（世界馬術選手権）2018トライオンについて

4年に一度開催される馬術家の世界チャンピオンを決定する世界大会。観客動員数50万人。9月11日（火）～23日（日・祝）に、70か国以上から約300人が出場し、ノースカロライナ州で開催される。

玉置選手はWinter Slider 2018で優勝し、本大会への出場を決めた。

過去、何度か日本人選手が招待されたことはあるものの、実力での出場はこれまでに例がない。

5 Winter Slider 2018について

2月にオクラホマ州で開催され、11か国から20人が出場した中で、レイニング部門で玉置選手が日本人として初めて優勝した。



スピン



スライディング・ストップ

<参考>

1 レイニング (Reining) 部門について

カウボーイを起源とするウエスタン馬術競技の一種で、猛スピードで走る馬を急停止させたり、回転させたりしながら得点を競う。馬が自然に動いているかのように見せる高度な技術が必要で、英国流馬術競技が主流の日本では競技人口は極めて少ない。

2 玉置 徹選手について

(1) プロフィール (※本人HPから引用)

1965年 東京都生まれ。幼少より離日、南北米大陸にて牧場環境で育つ。

1988年 West Fork 牧場 (テキサス州) にて競技馬調教業務、牛馬生産管理業務に従事。
プロロデオ及び、地方ロデオ (鞍付暴馬、暴牛) 及び、地方競技などに参戦。

1990年 帰国後、Double T Training Stables (山梨県) 競技馬調教厩舎を設立。

1994年 米国移住、Stone Canon 牧場 (コロラド州) 競技馬調教師として従事。
競技参戦と生產業務を展開。コロラド州立大 馬科学部生産学科にて就学。

1998年 活動拠点をテキサス州に移動。ワールドチャンピオン米国トップ調教師のスコット マッカッチョン、クレイグ ジョンソン厩舎に就業、ナショナルクラス競技参戦。アメリカ式調教法習得。ボブ アヴィラ、トッド バーゲン、トッド サマーズ、マッカッチョン兄弟、ティム マックエイ他、多数米トップ調教師と交流を持つ。

2000年 独立し、US (株) McCoy Stables, Inc. マッコイ調教厩舎をテキサス州に設立。
生産、育成、調教業務を展開する。レイニングホースを中心とした競技調教を展開。その他、ウエスタン競技馬全般、一般乗用馬、スポーツ乗用馬、クォーターホース競走馬 及び、サラブレッド競走馬、ポロ競技馬、アラブエンデュランス馬などを手掛ける。

2007年 再度の全日本優勝を機に、13年以上の米国生活を締めくくり、日本での活動を開始。アメリカ式 レジスタンス フリー調教とレイニング調教のクリニック活動を行う。

2009年 Sundance Equine Enterprises (サンダンスEE) を宮崎県に設立。
アメリカ式メンタル調教を軸に、競走馬から競技馬まで基礎調教、特殊調教業務を開始。

(2) 重賞戦歴

AQHA ワールドショウ Jr. レイニング参戦権獲得、及び参戦、ローカル戦優勝

NRHA フチュリティ (3歳新馬戦) 賞金獲得、州フチュリティ ファイナリスト

NRHA ダービー ファイナリスト、オールアメリカン ファイナリスト、ローカル戦優勝

NRBC ナショナル レイニング ブリーダーズ クラシック ファイナリスト

JWRA 全日本選手権レイニング優勝、他

JWRA 全日本選手権ジュニアレイニング優勝